

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	常に児童の要望や保護者の意見を確認しながら支援を行うようにしている	児童に関しては常に気持ちの確認をして、今何が最善か？日頃から職員で話合うようにする
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	定期的の個別支援計画書を作成して保護者に同意を得ています	計画書で疑問点やわからない等の内容があれば、その内容を確認してその説明を丁寧にするようにする
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談があった時は、丁寧にわかりやすい言葉で行うよう心掛けています	相談の内容によっては、関係機関等に助言を求めようようにしたい
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6	保護者同士との交流は行っていない	なかなか時間が作れないのが現状なので、何かいい方法か？考えていきたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	苦情があった場合は即対応するように心掛けている	苦情に関しては、双方が納得した話し合いができるように対応していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	日頃の活動はホームページで活用して、児童それぞれはSNS等を活用しながら発信している	ホームページで今の情報で十分か？話し合ってみる
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	個人情報は鍵付き書庫を活用しながら情報が漏れないようにしている。	個人情報は利用児童や職員で、事業所を卒業した後も守秘義務を守るようにする
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	説明は専門用語を使わず、相手がわかりやすい方法で行うようにする	伝達方法は相手が納得するまで、伝えるようにする
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	行事に限定しては行っていないが、そういった機会があれば行うようにしている	地域のイベントに参加することが多いので、そういった機会を今後考えていきたい
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	定期的に関連した研修を行っている	マニュアルは定期的に見直しをするようにする
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年に2回避難訓練を行っている	避難訓練の想定内容は固定化しないように工夫していきたい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	利用児童でそういった状況があった場合、保護者より内容を確認し、記録をとるようにしている	必要に応じて主治医の情報も確認していきたい
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	アレルギーはアセスメントでまとめ、保護者より常に確認するよう心掛けている	各児童のアレルギーの症状をしっかりと確認するようにする
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全管理は全職員で確認するようになっている	児童と何が安全か？安全じゃないか？話し合ってみよう
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	沖縄は台風が多いので自然災害での業務継続計画に基づき日頃の支援を行うようにしている	事業所の安全面は常に従業員みんな確認しようようにする
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	業務日誌にてヒヤリハットのありなしを記載するようにしている	ヒヤリハットがあった場合は、家族にも速やかに報告するよう心掛ける
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	虐待の県や地域主催の研修には積極的に参加するようにしている	どういったことが虐待になるか？研修等で学ぶようにする
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	基本的に身体拘束は行わないようにしているが、何が身体拘束になるのかを理解するようにする	今後も身体拘束を行う予定はない。身体拘束の事例等を確認して何がいけないか把握していきたい